

島根県の経済動向

統 第 8 0 号 の 6
平成 2 7 年 1 0 月 7 日

平成 2 7 年 7 月 分

政策企画局統計調査課

一 島根県の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、
引き続き緩やかな持ち直しの動きとなっている一

生産活動は持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は緩やかな改善の動きが続いている。個人消費は持ち直しの兆しがみられる。投資動向は持ち直しているが、このところ弱い動きがみられる。

生産活動	⇒	～持ち直しの動き～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は111.4で前月比で2.0%低下した。前年比は▲3.3%と6か月連続で下回った。大口電力需要実績は0.5%と2か月連続で前年を上回った。 生産活動は、持ち直しの動きがみられる。
雇用情勢	⇒	～緩やかな改善の動き～	雇用面は、有効求人倍率は1.27倍で前月より0.06ポイント上昇し、新規求人数は12.2%と3か月ぶりに前年を上回った。所得面は、現金給与総額は▲5.3%と5か月連続で前年を下回り、きまって支給する給与は前年同月と同水準だった。 雇用面は、緩やかな改善の動きが続いているが、所得面は、弱い動きがみられる。
個人消費	⇒	～持ち直しの兆し～	百貨店・スーパー販売額は▲4.3%と2ヶ月連続で前年を下回った。ホームセンター販売額は1.9%と4ヶ月連続で、家電大型専門店販売額は1.4%と2ヶ月ぶりに前年を上回った。新車登録台数は▲7.3%と7か月連続で前年を下回った。 個人消費は、持ち直しの兆しがみられる。
投資動向	⇒	～持ち直している～	建築着工床面積（非居住用）は6.5%と2か月連続で前年を上回った。公共工事請負金額は▲3.7%と8か月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数は7.2%と4か月ぶりに前年を上回った。 投資動向は、持ち直しているが、このところ弱い動きがみられる。
企業倒産	⇒	～倒産件数5件～	企業倒産件数は5件。うち小売業は1件、サービス業他は4件。
金融情勢	⇒	～貸出金残高は対前年3.6%増～	銀行預金残高は85か月連続で前年を上回った。 銀行貸出金残高は59か月連続で前年を上回った。
物 価	⇒	～前年同月と同水準～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は103.7となり、前年同月と同水準となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数（CI） （平成27年10月7日公表）		CI先行指数は65.3となり、2か月ぶりの下降となった。 CI一致指数は106.9となり、2か月ぶりの下降となった。
	法人企業景気予測調査結果 （平成27年9月11日公表）		財務省松江財務事務所が公表した景況判断BSIは、現状（27年7～9月期）は、7.6%ポイントと「上昇」超に転じている。 27年度の設備投資計画は、前年度比49.8%の増加見通しとなっている。（製造業 49.7%、非製造業 50.2%）

経済指標	前年同月比（%） ただし*は除く。						
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	107.0	107.2	115.3	108.1	113.7	111.4
	（原指数）	▲ 7.9	▲ 8.3	▲ 0.5	▲ 11.3	▲ 0.6	▲ 3.3
	大口電力需要実績	▲ 1.7	0.2	▲ 1.3	▲ 4.1	1.5	0.5
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	1.11	1.09	1.18	1.23	1.21	1.27
	新規求人数	▲ 14.2	▲ 7.6	2.0	▲ 8.6	▲ 0.1	12.2
	常用労働者数	1.6	1.5	1.8	1.8	2.1	2.4
	現金給与総額	0.2	▲ 0.9	▲ 0.2	▲ 2.5	▲ 0.6	▲ 5.3
	きまって支給する給与	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 2.2	▲ 1.9	0.0
	所定外労働時間（製造業）	▲ 6.6	▲ 0.6	▲ 1.3	▲ 0.6	0.4	▲ 11.8
個人消費	百貨店・スーパー販売額	0.7	▲ 13.1	3.0	2.5	▲ 5.2	▲ 4.3
	ホームセンター販売額	▲ 4.0	▲ 21.3	5.6	4.8	0.8	1.9
	家電大型専門店販売額	▲ 32.2	▲ 41.2	7.7	11.6	▲ 8.0	1.4
	乗用車新車登録台数	▲ 18.6	▲ 7.0	▲ 10.6	▲ 12.7	▲ 6.6	▲ 7.3
	出雲空港利用者数	8.2	▲ 0.5	4.4	3.7	7.4	7.4
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	270.6	0.6	28.6	▲ 51.0	5.1	6.5
	公共工事請負金額	▲ 41.7	▲ 32.9	▲ 27.3	▲ 46.3	▲ 0.3	▲ 3.7
	新設住宅着工戸数	44.1	31.8	▲ 44.8	▲ 15.3	▲ 11.2	7.2
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	4	13	5	7	2	5
	* 負債総額（百万円）	437	2,993	783	3,293	410	105
金融情勢	銀行預金残高	1.7	0.2	1.9	1.9	2.0	1.8
	銀行貸出金残高	6.2	4.7	5.1	5.2	4.1	3.6
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	102.3	102.6	103.1	103.4	103.8	103.7
その他	* 景気動向指数（CI先行指数）	69.7	63.4	70.3	70.0	72.0	65.3
	* 景気動向指数（CI一致指数）	97.1	95.5	105.2	103.8	108.2	106.9

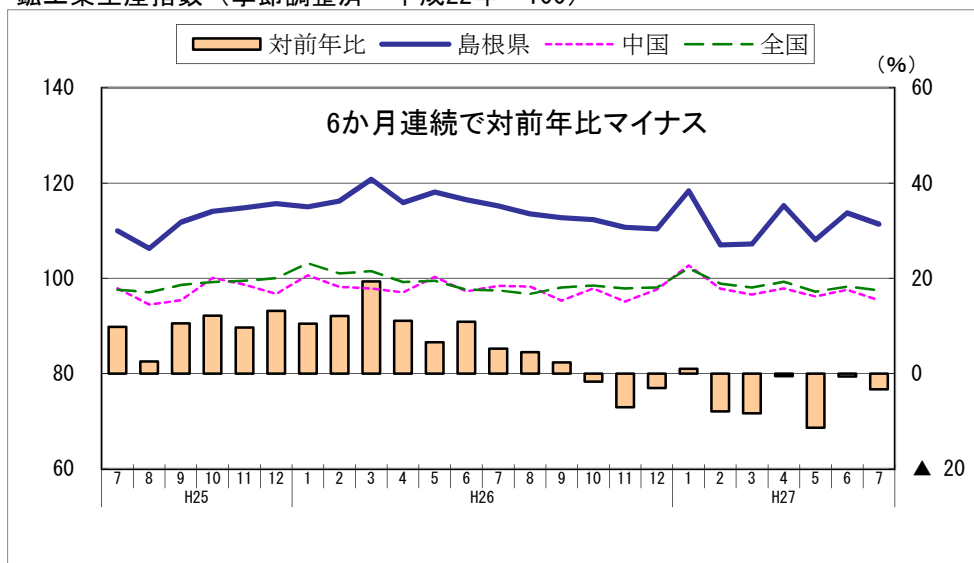
経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	「月例経済報告（内閣府）」平成27年9月25日											
	<p>景気は、このところ一部に鈍い動きもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人消費は、総じてみれば底堅い動きとなっている。 ・ 設備投資は、総じて持ち直しの動きがみられる。 ・ 輸出は、このところ弱含んでいる。 ・ 生産は、このところ横ばいとなっている。 ・ 企業収益は、改善している。企業の業況判断は、一部に慎重さがみられるものの、おおむね横ばいとなっている。 ・ 雇用情勢は、改善傾向にある。 ・ 消費者物価は、緩やかに上昇している。 <p>先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、アメリカの金融政策が正常化に向かうなか、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。こうしたなかで、金融資本市場の変動が長期化した場合の影響に留意する必要がある。</p>											
中 国 地 方	「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 平成27年9月17日											
	<p>～ 持ち直しに足踏み感がみられる ～</p> <p>中国地域の経済は、雇用や設備投資に良い動きがみられるものの、生産、個人消費は横ばい、景況感は現状、先行きともに低下しており、持ち直しに足踏み感がみられる。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 生産動向…横ばい</td> <td>7. 建設動向…公共工事は減少、住宅建設は増加</td> </tr> <tr> <td>2. 景況感…現状、先行きともに低下</td> <td>8. 雇用動向…有効求人倍率は上昇</td> </tr> <tr> <td>3. 産業用電力需要…減少</td> <td>9. 企業倒産…件数、負債額ともに減少</td> </tr> <tr> <td>4. 物価…消費者物価は上昇、企業物価は下落</td> <td>10. 貿易…輸出は増加、輸入は減少</td> </tr> <tr> <td>5. 個人消費…横ばい</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 設備投資…前年度を上回る見込み</td> <td></td> </tr> </table>	1. 生産動向…横ばい	7. 建設動向…公共工事は減少、住宅建設は増加	2. 景況感…現状、先行きともに低下	8. 雇用動向…有効求人倍率は上昇	3. 産業用電力需要…減少	9. 企業倒産…件数、負債額ともに減少	4. 物価…消費者物価は上昇、企業物価は下落	10. 貿易…輸出は増加、輸入は減少	5. 個人消費…横ばい		6. 設備投資…前年度を上回る見込み
1. 生産動向…横ばい	7. 建設動向…公共工事は減少、住宅建設は増加											
2. 景況感…現状、先行きともに低下	8. 雇用動向…有効求人倍率は上昇											
3. 産業用電力需要…減少	9. 企業倒産…件数、負債額ともに減少											
4. 物価…消費者物価は上昇、企業物価は下落	10. 貿易…輸出は増加、輸入は減少											
5. 個人消費…横ばい												
6. 設備投資…前年度を上回る見込み												
山 陰 地 方	「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2015年10月1日											
	<p>山陰の景気は、緩やかな回復を続けている。最終需要をみると、個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、全体としては底堅く推移している。住宅投資は、足もとでは持ち直しの動きに一服感がみられる。設備投資は、企業収益が改善するもとで増加している。一方、公共投資は減少している。こうした需要動向のもとで、生産は、振れを伴いつつも持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、全体としては底堅く推移している。 ・ 住宅投資は、足もとでは持ち直しの動きに一服感がみられる。 ・ 設備投資は、企業収益が改善するもとで、増加している。 ・ 公共投資は減少している。 ・ 生産は、振れを伴いつつも持ち直している。 ・ 雇用・所得環境は着実に改善している。 											
山 陰 地 方	「山陰経済動向（山陰経済経営研究所）」 2015年9月30日											
	<p>生産活動に足踏み感はあるものの、設備投資に前向きな動きが出ており、個人消費に持ち直しの兆しがみられ、雇用情勢も改善傾向にあるなど、基調としては緩やかに持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共投資は、弱い動きになっている。 ・ 設備投資は、2015年度は、製造業、非製造業ともに前年度を上回る計画（企業動向調査9月の全産業2015年度設備投資額は対前年度比6.5%増）。 ・ 住宅建設は、駆け込み需要の反動による影響は和らぎ、総じて持ち直しの動きがみられる。 ・ 個人消費は、消費税増税の影響は和らぎ、持ち直しの兆しがみられる。 ・ 生産は、業種間でバラツキがみられるものの、総じて横ばい圏内で推移している。 ・ 雇用情勢は、緩やかな改善の動きがみられる。 ・ 企業の業況判断は、足元（2015年度上期）は、製造業は改善したものの、非製造業が悪化し、全産業でも悪化となった（▲5.1→▲11.5）。先行き（2015年度下期）については、製造業が悪化を見込む一方、非製造業は改善を見込んでおり、全産業でも改善（▲11.5→0.2）の見通し（企業動向調査9月）。 											
島 根 県	「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」平成27年7月29日（四半期ごとに公表）											
	<p>県内経済は、緩やかに持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人消費 緩やかな持ち直しの動きが続いている ・ 生産活動 持ち直している ・ 雇用情勢 改善の動きがみられる ・ 公共事業 前年度を下回っている ・ 設備投資 27年度は増加見通し ・ 企業収益 27年度は減益見通し 											

経済指標の推移

【 生産活動 】 ～持ち直しの動き～

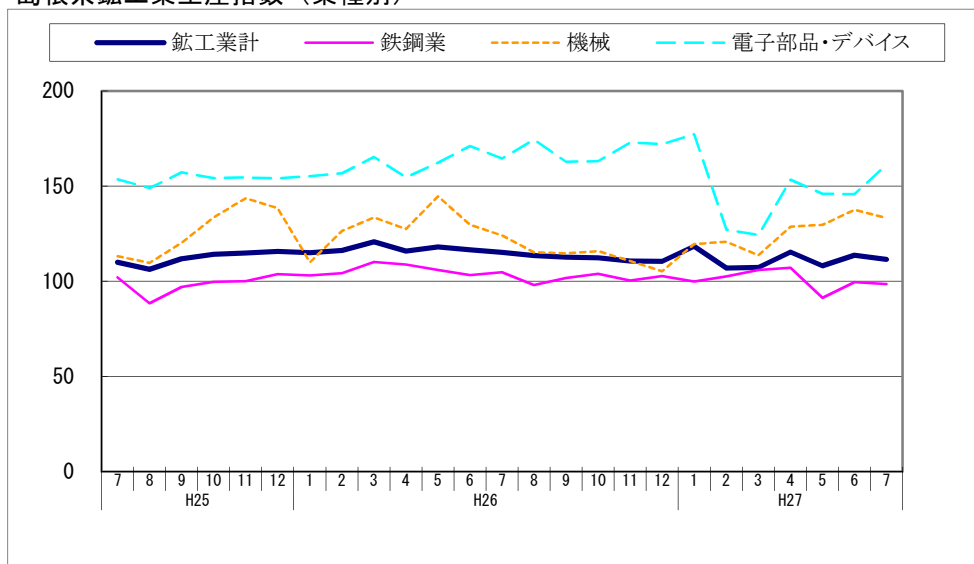
鉱工業生産指数（季節調整済 平成22年=100）



（注）対前年比は、島根県の原指数

（県統計調査課、経済産業省）

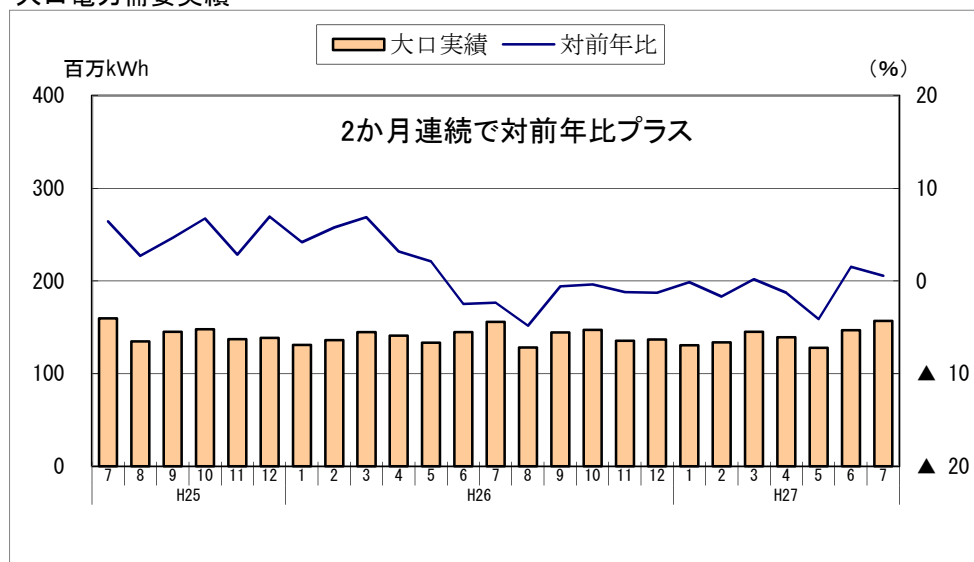
島根県鉱工業生産指数（業種別）



（注）機械とは、はん用・生産用・業務用機械工業である

（県統計調査課）

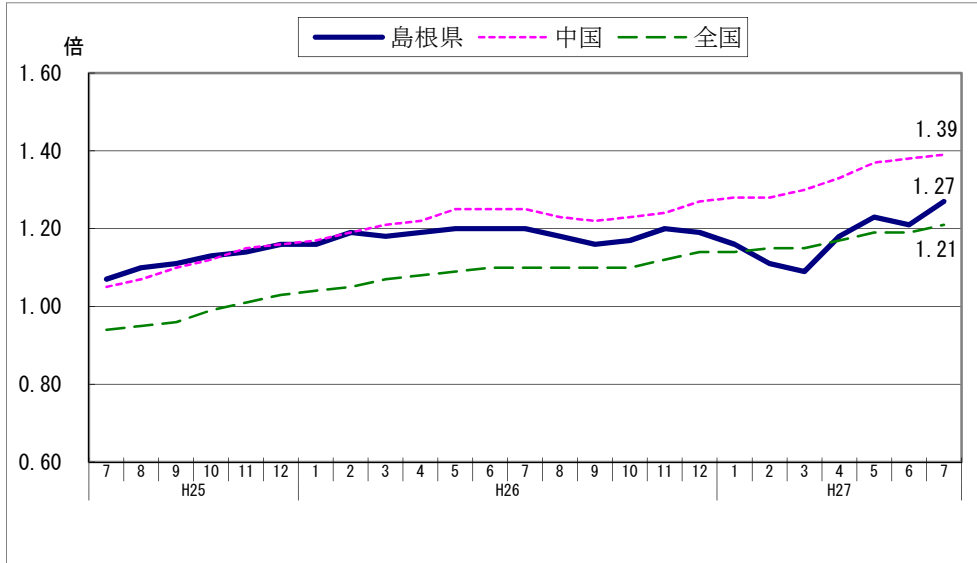
大口電力需要実績



（中国電力株）

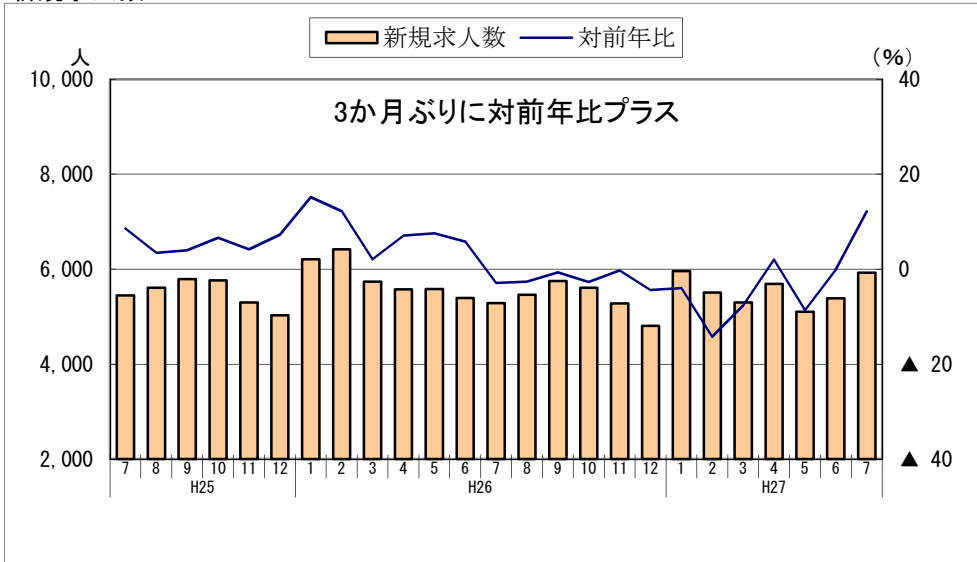
【雇用情勢】 ～緩やかな改善の動き～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



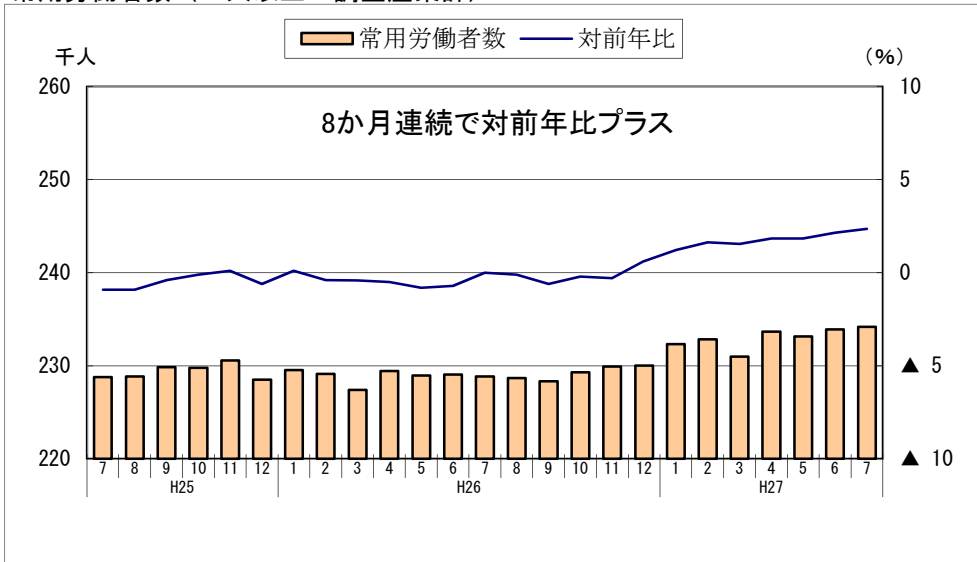
(厚生労働省)

新規求人数



(島根労働局)

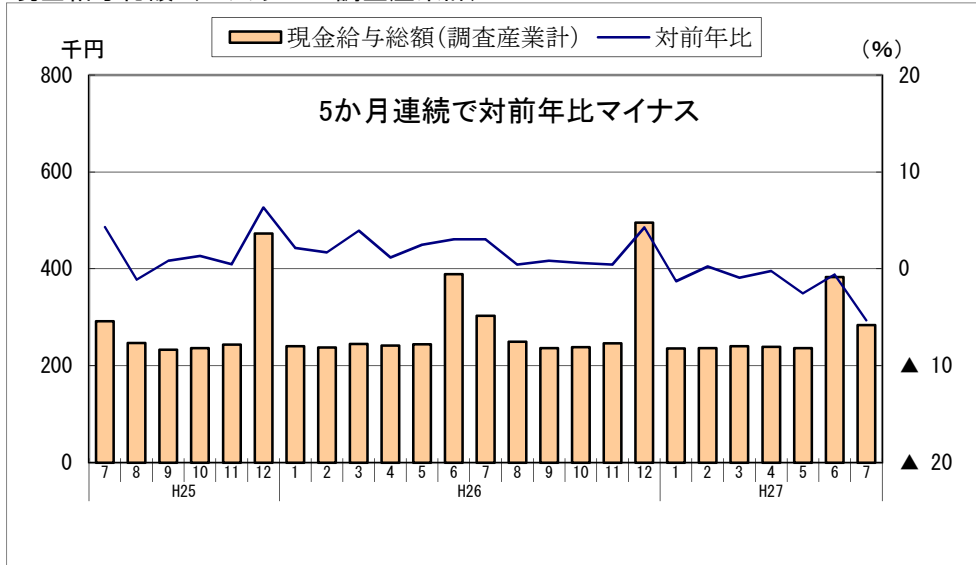
常用労働者数（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

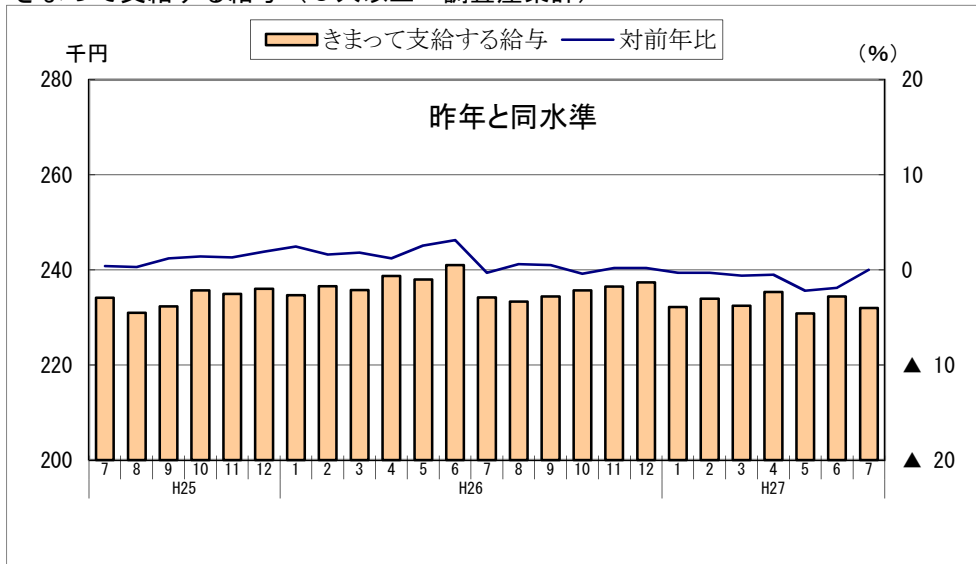
【雇用情勢】 ～緩やかな改善の動き～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



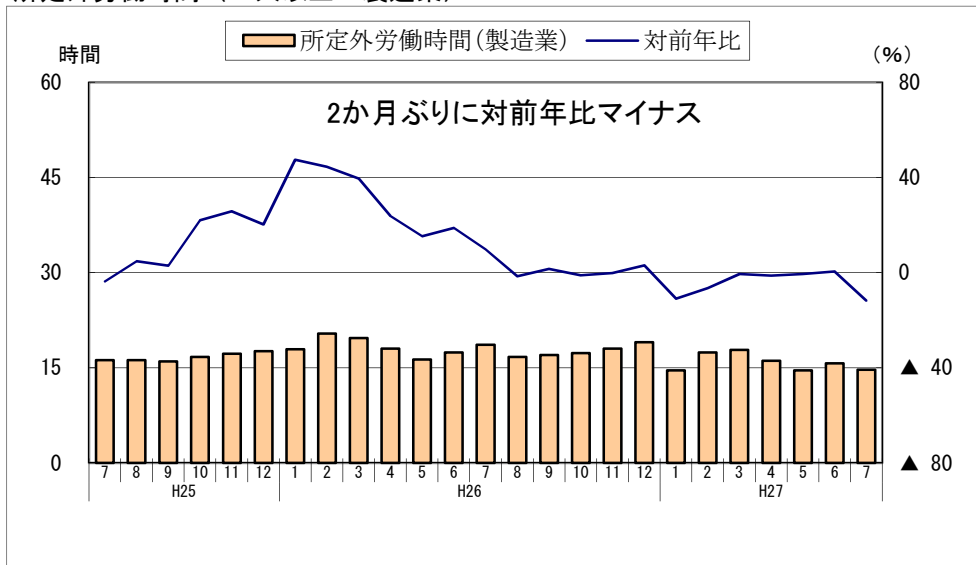
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

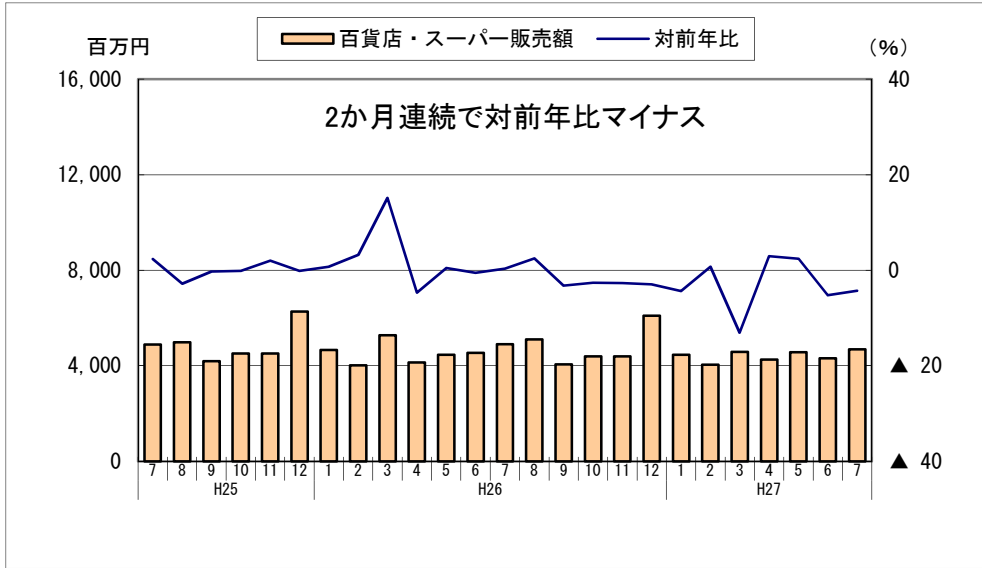
所定外労働時間（5人以上・製造業）



(県統計調査課)

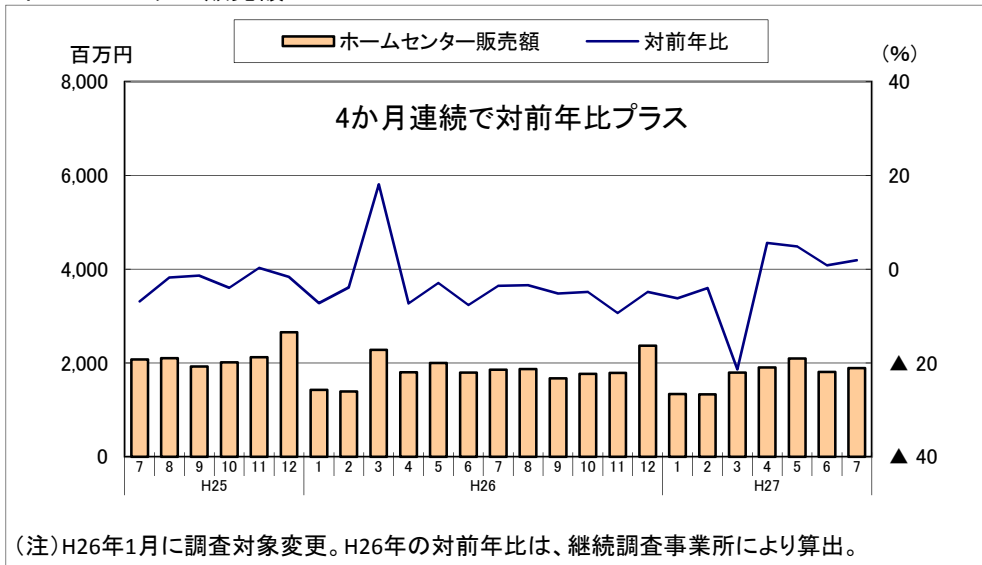
【 個人消費 】 ～持ち直しの兆し～

百貨店・スーパー販売額



(中国経済産業局)

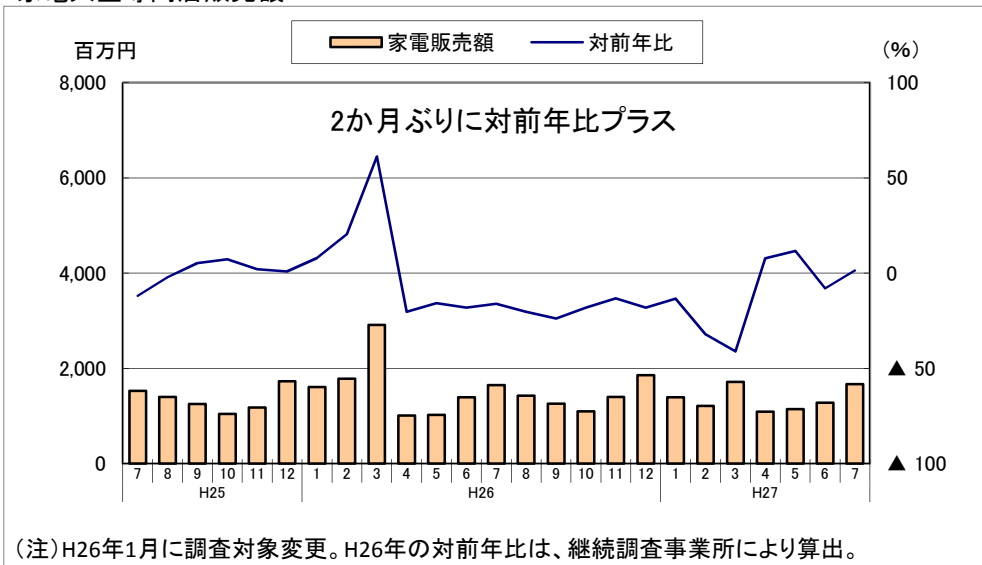
ホームセンター販売額



(注) H26年1月に調査対象変更。H26年の対前年比は、継続調査事業所により算出。

(中国経済産業局)

家電大型専門店販売額

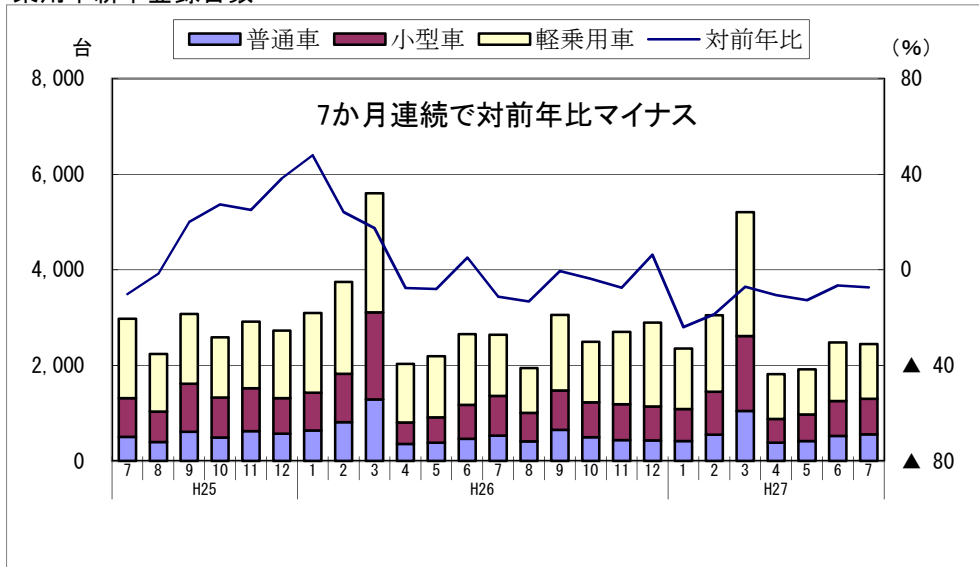


(注) H26年1月に調査対象変更。H26年の対前年比は、継続調査事業所により算出。

(中国経済産業局)

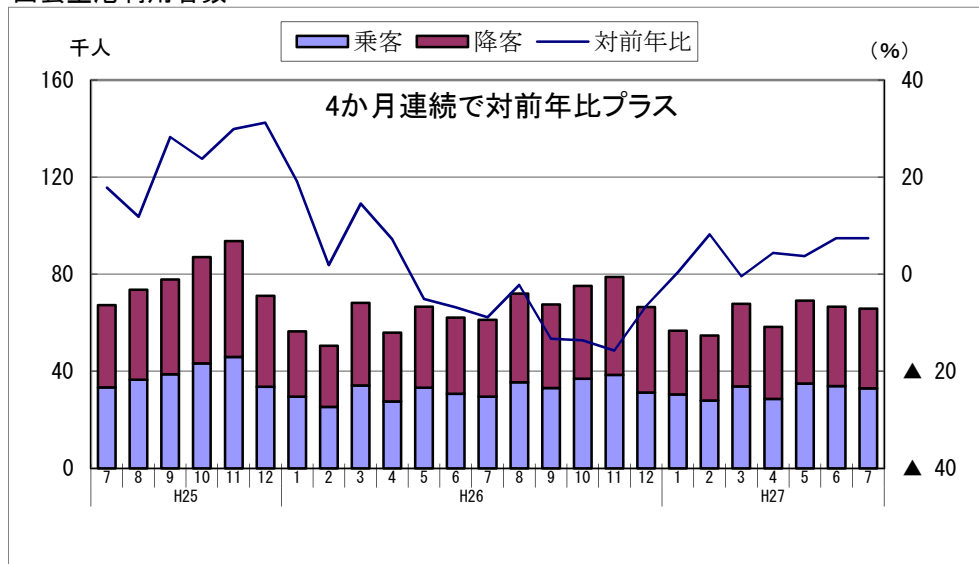
【 個人消費 】 ～持ち直しの兆し～

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

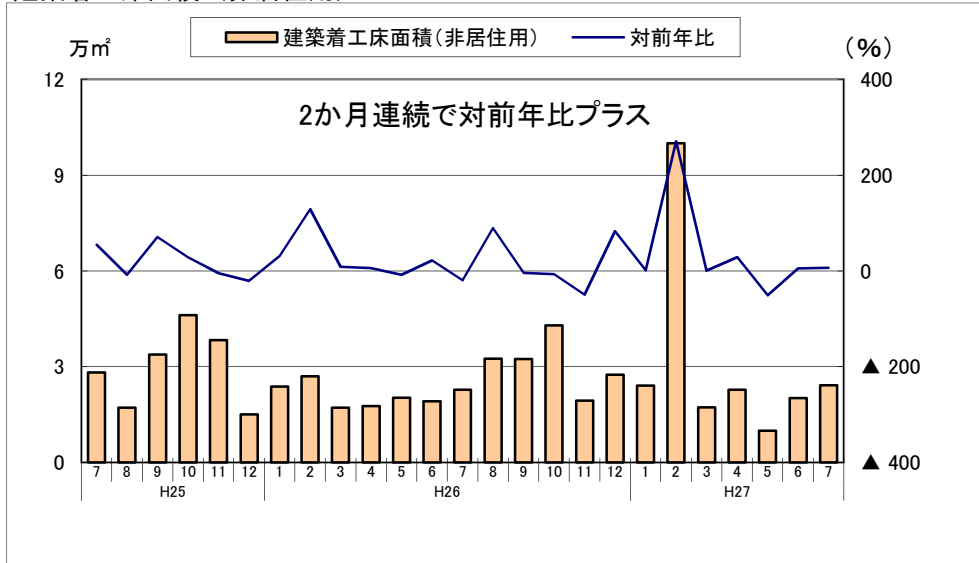
出雲空港利用者数



(県港湾空港課)

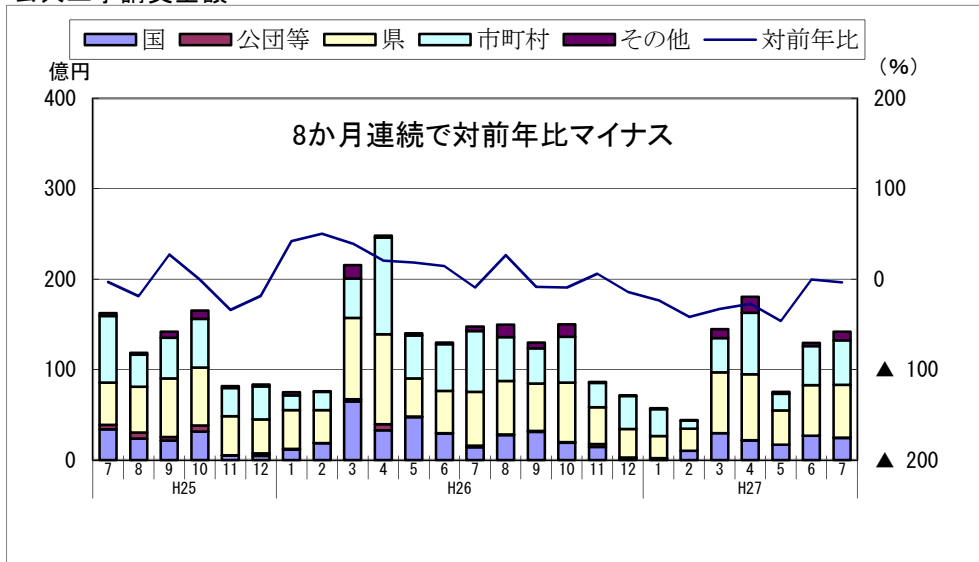
【 投資動向 】 ～持ち直している～

建築着工床面積（非居住用）



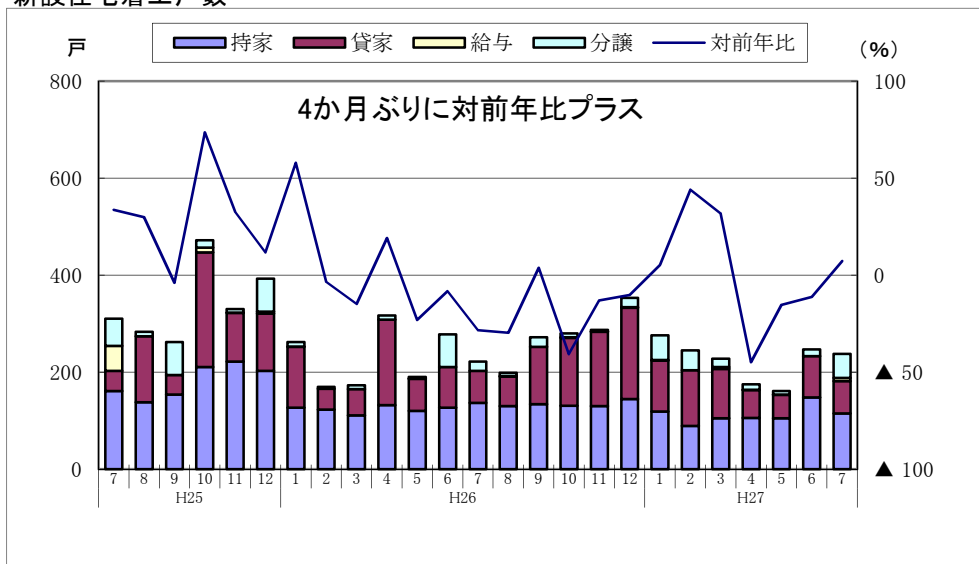
(国土交通省)

公共工事請負金額



(西日本建設業保証株)

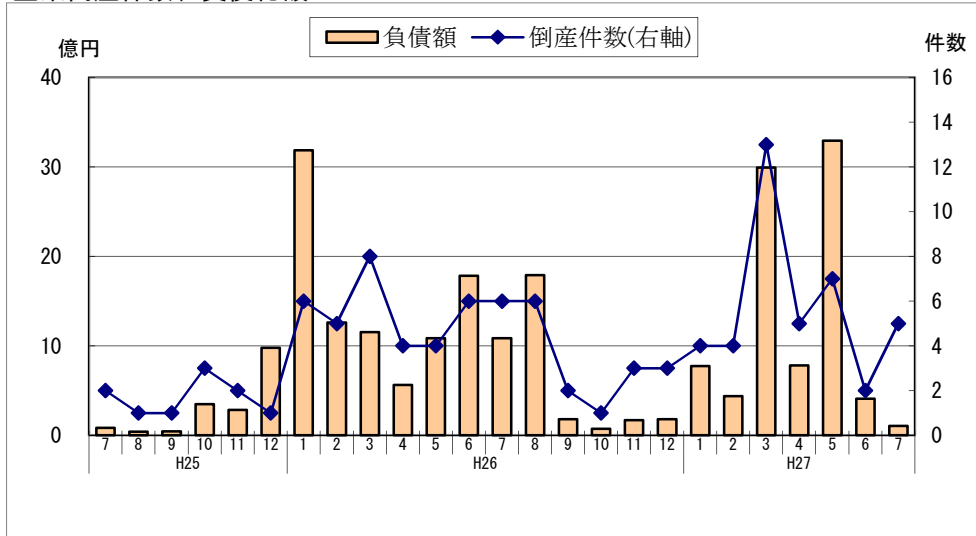
新設住宅着工戸数



(国土交通省)

【 企業倒産 】 ～倒産件数5件～

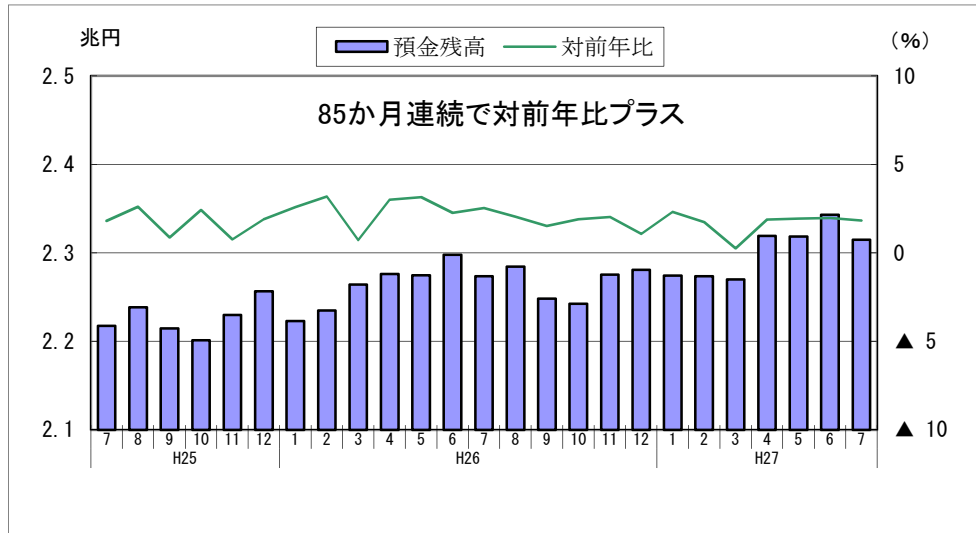
企業倒産件数、負債総額



(株東京商工リサーチ)

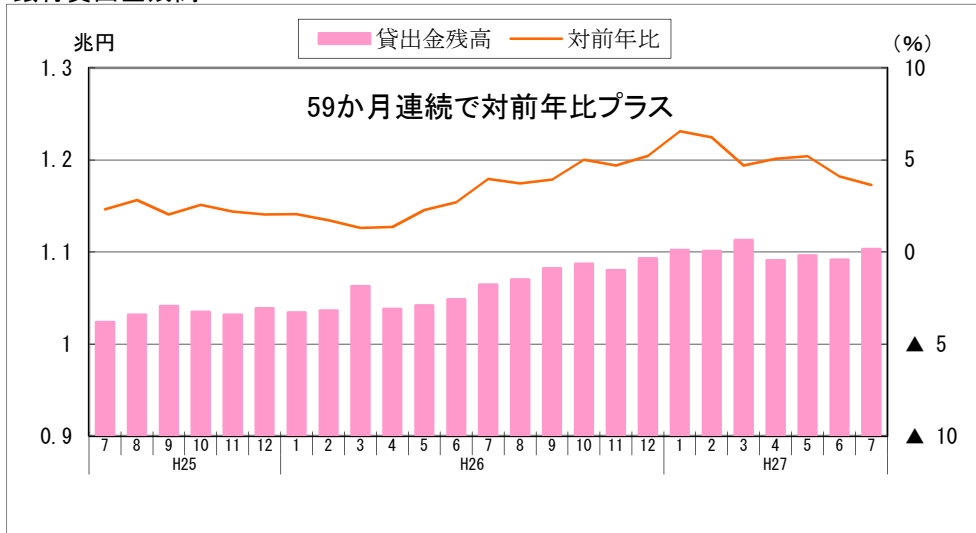
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は対前年3.6%増～

銀行預金残高



(日本銀行)

銀行貸出金残高

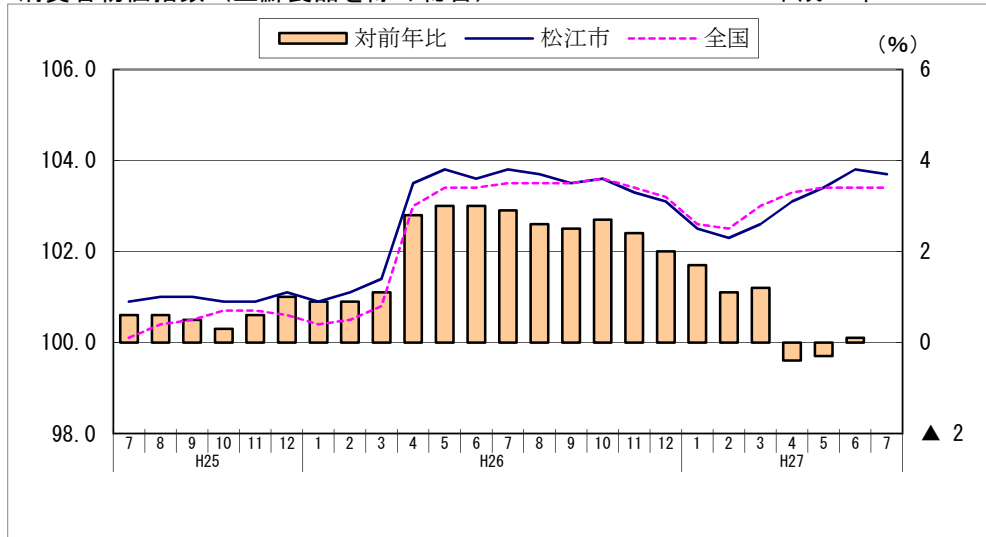


(日本銀行)

【物 価】 ～前年同月と同水準～

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）

平成22年=100

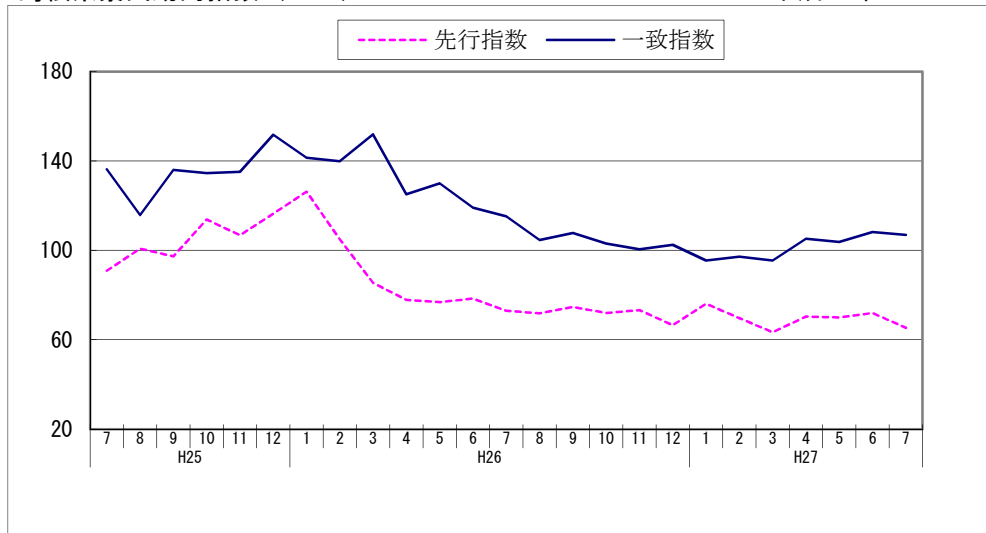


(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数 (C I)

平成22年=100



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果 (平成27年9月11日 財務省松江財務事務所)
平成27年7～9月期調査

景況判断BSI

(BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分	27年4～6月 前回調査	27年7～9月 今回調査	27年10～12月 見 通 し	28年1～3月 見 通 し
全 産 業	▲ 15.1	(5.7) 7.6	(11.3) 9.5	▲ 1.0
製 造 業	▲ 23.1	(17.9) ▲ 5.1	(25.6) 23.1	5.1
非製造業	▲ 10.4	(▲1.5) 15.2	(3.0) 1.5	▲ 4.5
大 企 業	12.5	(25.0) 0.0	(▲12.5) 0.0	0.0
中堅企業	▲ 23.8	(4.8) 7.1	(4.8) 2.4	▲ 9.5
中小企業	▲ 12.5	(3.6) 9.1	(19.6) 16.4	5.5

※ () 書きは、前回 (27年4～6月期) 調査時の見通し